

星の夢百聞

第216号

発行日 2024年2月1日
発行 株式会社 おいらーく
札幌市東区東苗穂9条3丁目1-40
発行人 星野 二三江

令和6年

in Lpasa

年末ジャンボ宝くじ大抽選会



1月12日に昨年リニューアルしたエルパサで抽選会を開催しました。新年がスタートすると券を買われた皆さんは「抽選いつだっけ?」「賞品は何だっけ?」と楽しみにされていました。今回も各事業所はズームでの参加となりました。午後2時高橋副部長がマイクを持ち、「これより年末ジャンボ宝くじの抽選会を行います。皆さんに当たりますように!」との掛け声でスタートしました。

おもてなし賞、おいらーく賞など各賞が次々に発表。場内からもズームからも「あった!あった!」「あー残念」との声が飛び交いました。

そして、いよいよ一等の発表です。星野代表が引いたクジが高橋副部長の手にわたると、右のこぶしを天に突き上げ、「エルパサ!」場内が一瞬凍り付き、次の瞬間「〇〇〇〇番」場内はざわつきました。なんと会場の前列正面のSさんに大当たり。

「よかったね!」「すごいね!」拍手が起りましたが、本人は信じられない様子。その後、菅谷さんは星野代表と記念撮影をされて抽選会は終了です。多くの利用者様を笑顔にできたひと時でした。

後日、Sさんに「高級ホットプレートは使ってみましたか?」と、訪ねると「もったいなくてまだつかってないよ!」と笑ってました。(石田 裕介)

1等

S様

エルパサのご利用者様です!



銭函
事業部

担当利用者U様 (96歳男性)

取り組み連携事例報告



ケアマネとして住宅への受け入れ調整

Uさんはご自宅近くのグループホームで生活されていましたが、食事・水分摂取量減少、介助量増大に伴い施設側から今後の生活の場について療養病床の紹介を受け、見学に出向いた長男さんは「死ぬのを待っただけの所だった」と悩まれ、お嫁さんご両親を担当させていただいていた縁から令和4年12月に相談を受けました。お嫁さんご両親はCOCO輝楽に入居されています。

グループホームから情報提供を受け訪問介護事業所のサポートユアライフ所長O田さん、COCO輝楽ホーム長の金□さんに入居について相談しました。移動は車椅子、日常生活全てにおいて支援が必要な状態ですが、定期巡回で対応する事ができ入居可能との回答を得て、Uさんとお会いする事もないまま令和5年1月26日輝楽入居となり、居宅事業所、訪問介護事業所住宅型有料老人ホームで情報共有を行いながら関わらせていただく事になりました。

Uさんから発語はほとんどありませんが、耳の聞こえは問題なく内容も理解できます。お返事は手を上げる、手を握り返していたり、等々のやり取りを行いながら訪問介護、住宅職員皆さんの関りもあり言葉を発せられる機会が増え長男さんから「以前はとも話好きな人でした。また話ができるようになりたい」と伺い長男さんのお名前を呼ぶ練習も行いました。

入居後、進行性核上性麻痺と診断され、リハビリを中心としたケアを行っていく事を考えましようとして医師からお話があり週2回訪問リハビリを開始、リハビリを続けて居室から食堂まで歩行練習できるように、鏡の前で自身の立ち姿を確認し歩き出される余裕も出てきていましたが、令和5年12月に入り食事、水分の飲み込みが難しくなり、摂取量が減少していく状況が続く、医師より「現状では年を越す事は難しく、希望があれば病院も紹介します」と長男さんに伝えられました。「死ぬのを待つような病院に入れたくない。お世話をかけるがこのままCOCO輝楽さんでお願いしたい」と最後まで輝楽での生活を望まれ、Uさんは令和5年12月9日未明に旅立たれました。

長男さんから「最後まで輝楽さんで過ごす事ができて良かったです。前の施設では面会制限があり顔を見る事もできなかったが、ここでは親子で一緒に過ごす時間も持てました。」と言っていた事で、居宅・訪問介護・住宅との連携、協力により対応させていただく事ができた事例です。

(ケアプラン銭函：△枝△雪)

訪問介護事業所として介護の計画・対応 在宅系でのケアの課題 ～1日のケアの流れ～

ケアマネから相談を受けた時には、迷うことなく二つ返事で受け入れさせて頂きました。支援内容は起床介助から食事介助、水分摂取や就寝介助、移乗移動介助等、生活全般に介助が必要でした。利用当初は職員からの声掛けにも反応はありませんでしたが、支援の度に話しかけると、頷きや手をふる、職員が名前を伝えると呼んでくれる等変化が見られました。特に職員の名前を呼んでくれた時には、まわりにいた職員が自分の名前を呼んでもらおうと次から次へと話しかけ、Uさんにとっては少しうっとうしかったのではないかとと思われるぐらい行列ができました。

しかし徐々に食事量や水分摂取量が減ってくる、COCO輝楽の職員と相談しながら好きな物なら食べるのではないかと、甘い飲み物なら飲むのではないかと等支援の度にはあれはどうだろう、これはどうだろうと考えるながら関わらせて頂いてきましたが、それでも食事量の低下は止まらず医者より年を越すのは難しいとの話があり、家族としてはCOCO輝楽でこのまま最後までとの希望があり、サポートユアライフ(訪問介護事業所)として看取りをする事を決めました。看取りは今までしたことはありませんでしたが、COCO輝楽で最後までと思っていただけの方が良かった時に、看取りはできませんではなく家族に安心して最後まで過ごす頂くために、勉強会を行っていた事で職員の不安も少なく、落ち着いて最後を看取る事ができました。

今回Uさんは自ら体調が悪い事をコールして職員を呼ぶことができず、夜勤職員が定期的に本人の様子を見に部屋へ伺っていましたが、あらためて自宅で暮らし定期巡回サービスを利用している方々が、体調が悪くなった場合に緊急連絡の電話をかけてくれるのかとの課題もみえてきました。今回は同じおいらーく内の事業所どうしだった為スムーズに連携が取れたと思います。今後は、違う会社の事業所ともスムーズに連携が取れるように対策を考えて行く必要があると感じました。

(サポートユアライフ：○田○)

住宅型有料老人ホームとして 住宅への受け入れ課題

Uさんは、ケアプラン銭函、△枝ケアマネの相談から始まり、令和5年1月に入居されました。お嫁様のご両親が入居されている関係で息子さんもCOCO輝楽の雰囲気はよくご理解されておりました。やはりコロナ禍も重なり、グループホームでは面会も制限があり難しかったと伺っておりましたので、住宅としてはそこが一番の課題点だと思っております。入居後は息子さんは勿論、ご親戚の方も自由に面会に来られ、発語は難しかったですが、普段は目をつむられていたのがご親戚がくると目を開けられ、認識はされており、楽しくにぎやかな時を過ごされておりました。

息子さんからはひ孫さんのアルバム等、以前は読書もされ、車関係のお仕事をされておられ、車も好きとの事で雑誌を置いていかれ、調子のよい時はご覧になり過ごされておりました。普段の様子を動画にとり、息子さんの面会時に近況がてらお見せし安心されておりました。以前は面会もままならず状態も直接はわからなかったのがご家族が自由に訪問され親子で過ごす時間を確保されていたり、しゃいりました。

昨年12月に入られてからは食事の摂取量も減り、食事に関してもトロミの硬さ等、少しでも摂取できるようにその時々で対応しておりました。年内は難しいとの事で看取りの体制という矢先の昨年12月9日未明に旅立たれました。ご家族からは最後までCOCO輝楽で過ごす事ができてよかったですとの言葉を頂き感謝申し上げます。

(COCO輝楽：金□真□)

4年ぶり!

待ちに待った! 新燃会 がやってきた!!

待ちに待った4年ぶりの新燃会がやってきました! おいらーくの新燃会の命名は、新しい年を迎え職員一同大いに燃え上がろうという趣旨で名づけられました。それにしてもこの弾ける笑顔・笑顔。利用者さん・入居者さん、そしてご家族のみなさん、普段の施設ではみられない職員の一面をご覧ください。

ヨギボーが当たった山田所長



CoCo東雁来



豊生会



生きがい東雁来



スプーン渡しゲーム



本部&北31条



うらら伏古

旋風会役員



銭函事業部



生きがい東雁来



リボン



GH夢メンバー



7んや本町



ボール送りゲーム

新聞折ゲーム

高橋副部長の迷司会



第2東雁来サポートセンター



総務・フォルテシモ



7んや新道



Lpasaメンバー



配食事業部



えくぼ



せんり





歳末
助け合い

物品寄付ありがとうございました!

氏名	ご寄付商品	寄贈日
職員匿名希望	魚介の缶詰 多数	12/10
横田 幸恵様	カイロ等の暖房商品・その他	12/11
職員匿名希望	日用品多数	12/19
職員匿名希望	インナー類	12/22
職員匿名希望	缶詰及び備蓄品	12/25
入居者様匿名希望	135ℓ冷蔵庫、32型TV	12/25
入居者様御家族匿名希望	ハンドジェル多数	12/25
元入居者様ご家族匿名希望	フェースタオル 100 枚以上	12/28

この度は、おいらーく各施設入居者及び外国人実習生にご支援いただき誠にありがとうございました。みなさんのご寄贈品を受け取った方々からは、とても暖かい気持ちとなり人情をいただいたという言葉がありました！

左記の寄贈をいただきました方々の氏名及びご寄付の品を掲載し、感謝の気持ちにかえさせていただきます。

行事報告

元町第2ヶアサポートセンター

冬の神社がやってきた!!

えくぼ・COCO元町式番館ではお正月に書初めを行っています。利用者様、入居者様それぞれ今の想いや欲、目標など色々と思いつかべながら筆を振っておりました。中には娘様の名前を書く方もおり、子供想いの一面を見ることも出来ました。

書初めの後には皆で甘酒を飲み温まっています。その甘酒は：職員お手製！とても美味しく頂きました。

そしてそして、題名にもなっている神社です。建物の中には立派な鳥居が!!こちらはS職員による手作りです。初詣に行きたくてもいけない入居者様、利用者様もおり、その方達の事を想い、12月中頃から何日も掛け1人で作り上げて出来た立派な神社。その名も『元町第二神社』その佇まいはこれらの神社には負けません!

そして、この鳥居ですが実は：移動式なのです。えくぼ、元町式番館、せんとりと場所を選ばずお参りが出来ます。おみくじもあり、大吉が出て喜ばれる方、書いている内容で落ち込む方もいましたが皆様楽しまれている様子でした。

現在は玄関にあるので元町第2ヶアサポートセンターに立ち寄った際にはぜひ、お参りやおみくじを引いて楽しんで頂ければと思います。

(佐々木浩二)

書初めと絵馬に真剣に取り組まれていました!



COCO東雁来

新年の制作

COCO東雁来では、館内の壁に今年の干支の龍を職員一同で制作し、ディスプレイしました。入居者さんからは、とても正月の気分が浸れてよかったと、やったかがありました!

昨年は、コロナやインフルエンザがまだまだおさまらず、今年こそは色々行事を企画して楽しんでいただこうと考えております。

さあ早く春が来てこの寒い冬におさらばしてウキウキ・ルンルンで龍の年を楽しみたいものです! (白鳥たか子)



行事報告

うらら伏古

冬の

冬まつりだよ！全員集合！

ゆきだるまをつくらう

少ない入居者様に季節を感じて頂きたいと、職員の提案で雪だるま作りを行いました。入居者様は職員の心配をよそに冷たい雪に積極的に触れ、真剣な表情で思い思いの雪だるまを作られていました。飾り付けも何にしようかと職員が用意した中からご自分で選び、出来上がった雪だるまは個人的に入居者様の発想力に職員も驚くほどでした。

作成後は職員手作りのチョコレートで作ったデザートと高級緑茶に舌鼓：「美味しい」と喜んで頂く事が出来ました。（伊藤典子）

個性のあるかわいいミニ雪だるまが沢山できました★



朝礼でのステキなお話 特集



利用者の希望においらーくが一体となって取り組んだ素晴らしい事例

今回は、『星の夢は百聞216号』の2ページ目に掲載された『銭函事業部 取り組み連携事例報告』の内容について少しコメントをさせていただきます。僕が銭函朝礼に出席させていただいた時、ケアプラン銭函の△枝△雪△アマネがこの内容のお話をされていました。

これが介護付有料老人ホームや小規模多機能型施設等といったで看取る施設ならいざ知らず、住宅型有料老人ホームといっても元気なお年寄りや要支援の方々が多く、特別な方を除いて自由に出入りできる住まいであり、住宅自体のサービスは、見守りと食事提供や共有部分の清掃や施設管理だけであり、個々の介護サービスは併設されているとはいえず、訪問介護又は定期巡回随時サービスを利用していただくので、どうしても24時間切れ目のないシームレスなサービスは難しいと感じていたからです。但し、入居者さんにとっては、病院と特別養護老人ホームよりある程度自由でご家族さんとの接触や行事等の参加も可能な住まいで少しでも自分が望むことがかなえられ、人生の最後まで暮らせていけたならどんなにいいのかなとも感じていました。これは、言葉では簡単なことでも現実的にはとてもリスクがあり、ご家族は勿論、事業者側にとってもとても勇気のいることであり、地域の社会的資源としてのプライドがないと出来ないことです。この事例は、ご本人とご家族さんの希望をケアプラン銭函と訪問介護事業所、それに住宅アが一体となって取り組んだ素晴らしい事例だと感じ、『星の夢百聞』に掲載をお願いしたのでした。

これからも色々なケースの相談が持ち寄せられると思いますが、これらのケースを体験し・反省し・振り返りながらおいらーく全体がケアの質を高めていただければと感じました。

最後に、このような事例は各事業所で体験していると思いますので時により事例報告をあげさせていただきます。そして、このような取組事例がこれからもたくさん報告出来ればとても嬉しいです。（松田茂男）

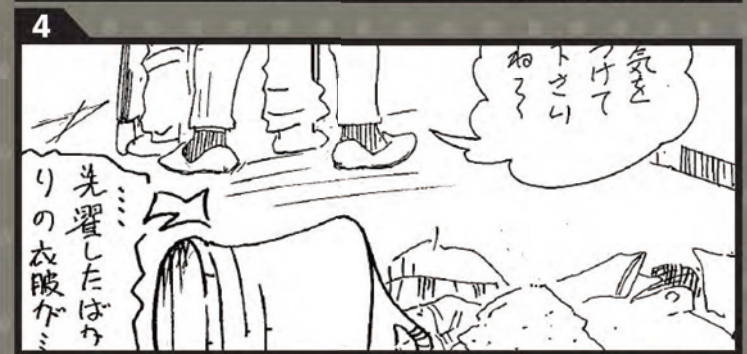
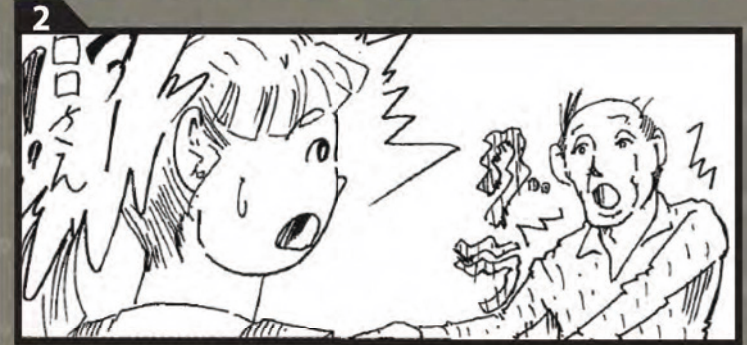


なべちゃん

4コマ

介護日記

NO.31



第101弾

ドラムす子でバチ当たり人間のよもやま話



運転免許を取得し45年ほど経つ。このたび書き換えの通知が来て生まれて初めて優良運転者講習を受けられることを知った。つまりゴールド免許取得である。おめでと、自分。ゴールド免許所持により更新期間が5年となり、更新時の手数料や自動車保険金の割引も受けられる。講習時間は30分に短縮されるし、オンラインでの受講も可能だそう。いろいろ優遇されるのだな、ゴールド免許は。飲食店の支払いやスーパーでの買い物にも一応免許を提示してみよう。思い起こせば取得以来私の免許の色はずっとブルーだった。人生そのものがブルーだったり、ケツがブルーだったころもあったがじきに私はシルバーの世代を迎える。光陰矢の如し。叶うなら人生はブルーでもシルバーでもなくバラ色が望ましい。

ゴールド免許は素直にうれしいが、自動運転技術の向上に伴い運転者と車の関わり方は今後大きく変化していくだろう。自動運転のレベルは0から5まであり、現在レベル4「高度運転自動化」の一部実用段階にある。さらにレベル5になれば「完全運転自動化」となり運転者はもはや必要とされず全ての道路環境において走行可能な段階となる。人口知能によって制御された自動運転は、アクセルとブレーキを踏み間違えたり、ハンドル操作を誤ったりなどの人為的ミスによる事故や違反を減らして起こさない。安全な車社会の到来だ。従って運転者は誰もがゴールド免許となるだろう。むしろ現在の免許制度など廃止されるかもしれない。自動車教習所や試験場も消失するだろう。5年以上無事故無違反を守りやっこさ獲得した人生初の6私のゴールド免許に今後価値があるのか。

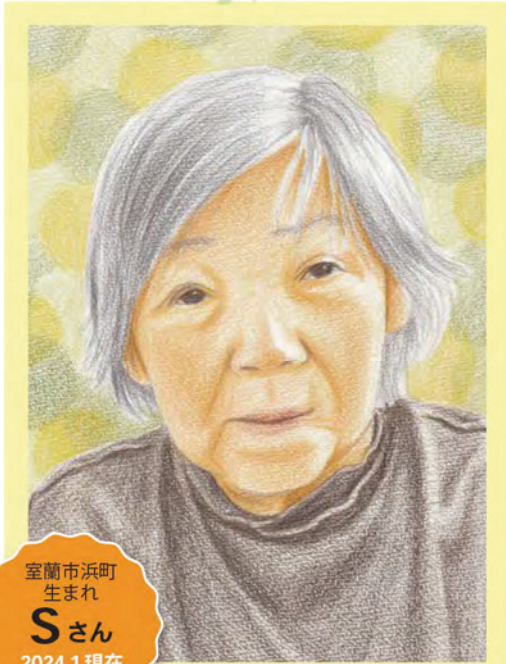
安全は何にも代えられない絶対的条件に違いないが、車を運転する喜びは別の次元の話と思われる。現在オートマチック車が多い中、あえてマニュアル車を選ぶ人たちもいる。クラッチ、シフトレバーを操作しシフトアップ、シフトダウンをおこなう。速度や回転数に応じて適切なギアを選択することは自分自身が車を操作している実感を持たせてくれる。操作上、道路状況にも敏感となり注意力も増す。運転する喜びとは、またがった馬を意のままに走らせるそれに近いと思う。私の場合はバイクを運転するときとその感覚を覚える。

自動運転車に運転の喜びを求めても仕方ないし、むしろ我々は認知力や判断力や操作力が求められる面倒な運転から解放されるのだ。完璧安全タクシーの乗客となるのだ。「酒とバラの日々」という古いアメリカ映画があった。挿入曲はジャズのスタンダード曲としても有名だ。甘美なタイトルだが、描かれたのはアル中で幸せな人生を失っていくというシリアスなドラマだ。

自動運転となり運転に支障ないため飲酒してしまう輩もいるだろう。私ならそうする。深酒したところで眠ってかまわないし目的には連れて行ってくれる便利さから自動運転アル中が増えるかもしれない。車社会がバラ色となっても人間の性根は変わらないのだな...とほほ。(蓮川 享士)



馬が翁塞万事人間



室蘭市浜町生まれ
Sさん
2024.1現在
91歳

似顔絵作：松田 郁美

「スタンドアップ!」。席から立って頂く際、Sさんにお声かけすると決まってこう仰ります。ついついこちらも「スタンドアッププリーズ!」と返してしまいます。お菓を飲んでいただく際もじゃんけんのジェスチャーで必ずパーを出してから、その手に菓をお渡しする。そんな大変愛嬌のあるSさんの物語です。

Sさんは室蘭市の浜町という所のお生まれ。ご両親は早くに離婚され、2人目のお父様に良くして頂いたそう。その後戦争があり、疎開先としてお父様の出身地の壮瞥町久保内という所に移ります。そこで精米所を営まれ、主にSさんがお店を手伝ったとの事。「お母さんは手伝わなかったの?」と聞くと「もうお腹が大きかったからね」。6人兄弟の1番上としてお父様とお母様を助けていた、だけでなく、お得意の編み物で、「よく弟、妹の服編んだんだよ」と仰る通り弟や妹の面倒も見ていた様子。面倒見のいい性格は昔からだったようです。

その後戦争が終わり、一家は伊達町に移り住みます。そこで質屋を営むことに。今度の主役はお母様。「母さんは反物の見る目が良かったから」。お母様の着物の目利きの力もありお店は繁盛した、との事。ここでもSさんはお店や家事の手伝いをして家を支え、ご自身が結婚するまでそんな生活を続けていたとの事。そんなSさんが長く連れ添われたのは1度目の結婚を経て29歳の時に出会われた、7歳年上の旦那様。死別された先妻の方との間に3人の子供がおられました。我が子として育てられ、会社員として勤められていた旦那様と平穩に暮らされました。この頃には大ファンの三浦洸一さんのコンサートを見に札幌まで来たのだそう。「さよならも言えず」と、三浦洸一さんの名曲「踊子」をすぐアカペラで歌いだすほど。3人のお子様も育て上げ、ゆっくりと老後を過ごされていましたが、旦那様のご病気を期に恵庭に移られます。その時に通われた老人ホームでフラダンスを習われたそう。とても楽しかったようで、フラダンスのお話が出るとすぐ手で「振り」が出るほど。その趣味が高じてフラダンスの先生の引率でハワイまで行かれたそうです。今でもその写真を大切に

にお部屋に飾っておられます。そんな「愛されキャラ」のSさんなので、職員にも利用者様にも愛されております。できるだけ長く、元気でいて頂きたい。そして1年以上前に約束した僕のマフラーが編みあがるまで! (もちろんそれ以上いつまでも!) 支え続けて行きたいと思っております。(聞き取り：鎌田 秀好)

好きな曲は
三浦洸一「踊子」



ヒント

いつもおらかな笑顔が素敵な管理者さんです! もう10年以上の勤務経歴です。



前号の正解は

えくぼ元町
管理者さんでした!

誰? 私、誰でしょう?

親戚の家にいつも遊びに行っていた、大きいお兄ちゃんのことか沢山いたので遊んでもらっていました。白いお化粧しているのは、お盆になると田舎では、踊り山という車で音楽を鳴らし、踊り手さんが家の広場で踊り、町内会に寄付をもらうという、田舎独自の行事に小さいときから、母親と参加していました。一日中踊り続け、熱中症になりました。たこともある位、長時間踊ります。3枚目は、28歳のころ、呉服屋さんに努めていて、着付けも習っていたころ、先生と一緒にホテルで講演会のようなものに参加したときに記念に友達と一緒に撮ったものです。さて、そんな私は誰でしょう?



1月行事内容と2月行事予定



令和6年2月行事予定

令和6年1月行事内容とイベント風景

令和6年 2月行事予定

令和6年 1月行事内容とイベント風景

せんり ○節分

うらら伏古 ○14日「節分」

えくぼ東雁来式番館
ココ東雁来式番館 ○節分行事
○バレンタイン

えくぼ元町 & ココ元町 ○3日 節分行事/合同誕生日会

えくぼ & ココ元町式番館 ○えくぼ&元町式番館=豆まき
○サテライトえくぼ=豆まき

銭函お散歩カフェ ○3日・17日 趣味の会
○24日 認知症カフェ
～二胡演奏会（最終回）

ココ輝楽 ○節分
○CoCo輝楽：雪あかり
○誕生日会

○お正月
○誕生日会



○14日・21日「冬祭りだよ！全員集合」



○アート刻書作品展覧会：21日

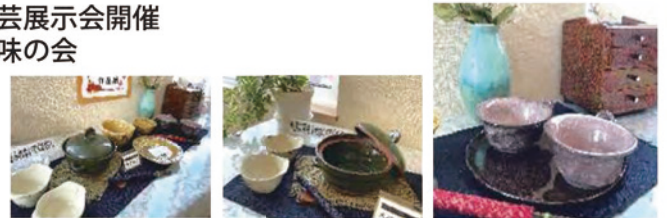


※事業所都合にて実施せず

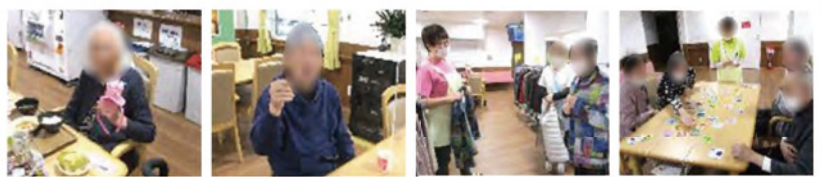
○えくぼ&COCO元町式番館=書初め、初詣、絵馬
○サテライトえくぼ=書初め、福笑い



○13日～陶芸展示会開催
○20日 趣味の会



○お正月○衣料販売○焼き芋キッチンカー○誕生日会



経営方針

『高齢者も障害者も住み慣れた地域で、安心して暮らせる地域づくり』を目指し、つねに『ご利用者様の立場にたった総合的な介護・福祉企業』のあるべき姿を探究し続けるオンリーワン企業を目指します。